

# 京急蒲田駅西口再開発第二街区協議会設立！

初代役員を選出、いよいよ活動開始

## ●●はじめに

いよいよ蒲田の本気の街づくり活動が、具体的な協議として開始されました。現在、長い年月を積み重ね生み出したセンターエリア協議会が「スピードを持って老朽化した建物を共同建替えによるまちづくり」として地区計画を提案しています。

遅れながらも私達「京急蒲田西口再開発第二協議会」は、引っ越し費用や工事期間中の仮住居費用などが補償され個人負担がなく原則等価交換される駅前と同じ「第一種市街地再開発事業案」を推奨しています。このように街のなかにはA案もありB案もあります。これはとても嬉しいことです。街の皆さん達で話し合い協議することにより何よりも理想的な街づくりになるのです。そして街には地権者・賃貸者や商業者や居住者など立場の違う様々な人々がこの京急蒲田で暮らしています。

さあ、これからは街の皆さんで、京急蒲田の街づくりに夢をもって根気強く話し合いながら、取り組んでいきましょう。

※第一種市街地再開発事業＝第一種と略します

### ここまでの主な活動内容

2013年

12月16日 外部勉強会参加（カーサ会発足）

2104年

2月10日 第一回勉強会（まちづくりとは）

3月10日 第二回勉強会

（地区計画と第一種の詳細徹底比較）

3月15日 第三回勉強会

4月14日 第四回勉強会

（地区計画と第一種の経験者と確認）

4月22日 京蒲第二協設立総会

## ●●設立総会が開催され、会長等選任される

4月22日

八幡神社の宮司様のご厚意により社務所をお借りして設立総会を開催しました。（出席者35名）

本総会が開催に至った経緯が渡辺氏より報告された後、議事に入り協議会の名称の承認・規約の承認・役員を選出がなされて閉会しました。引き続き、規約7条に基づき第1回目の役員会にて会長・副会長2名・理事3名・会計1名・監事1名が互選により決定されました。

4月25日

大田区議会を訪問して設立を報告後に、大田区長に設立を届け出ました。

### 初代役員

会長	日下 賢二
副会長	橋本 しのぶ 渡辺 泰弘
理事	當間 幹夫 長田 常治 小山 富美江
会計	伊藤 元宜
監事	上野 了一
	敬称略



選出された初代役員、右より日下会長、伊藤会計、小山理事、橋本副会長、渡辺カーサ第二蒲田理事長、渡辺副会長

## ●●今後の予定

今後の予定として、まちづくりの理想の形である区民が主体となり事業者、行政と協働しそれぞれが責務を果たす大前提の基、既存の協議会と真摯に話し合い蒲田の街が素晴らしいものとなるように、また子供達に笑顔あふれる街をバトンタッチできるように後追いの後輩協議会ですが先輩協議会に負けないように勉強し、情報を発信して参りたいと思います。参加は自由ですので是非毎月第二月曜16時から八幡神社社務所にて勉強会をしておりますので一度覗いて見て下さい。私達の会はオープンスタイルで開かれた会ですので参加も自由です。ニュースに皆様の正直な声をお聞かせ下さい。《お問合せ先》 TEL 03(6712)0104 会長 日下賢二 宛

## ●●会長のメッセージ

最強の街【「稼げる、暮らせる、学べる、癒せる、遊べる、治せる、出産できる、子育てできる・・・」等の諸条件、すなわち総合的な都市のインフラを完璧に満たした街】づくりを目指しています。昔から定住する強固な地元層の性格を外部発信型（異質な価値観に対する地元層の高い許容能力）にして転入者に対してコミュニティが開かれている、そのような文化レベルや民度の高い都市文明の創造に団塊世代の後半人生を賭けています。

## ●●重要なお知らせ

建通新聞に『京蒲第二協設立』の記事が大々的に取り上げられました。裏面を参照下さい。日本の玄関口としてこの蒲田の開発は大注目されていると同時に日本中から期待されていると言うあらわれだと胸が高鳴ります、本気のまちづくりを皆様と一緒にやりましょう！

# 京急蒲田駅西口再開発第二街区協議会が設立

2014/4/25 東京

京急蒲田駅西口の蒲田4丁目で、地元の地権者有志が将来的な再開発を目指し「京急蒲田駅西口再開発第二街区協議会」（日下賢二会長）を設立し、25日に大田区に届け出た。最大で約2㍻規模となる大街区での第一種市街地再開発を計画している。

対象地域は京急蒲田駅西側商店街（蒲田あすと）を南北に挟む格好で、北は呑川から南は蒲田八幡神社などの敷地を含む蒲田4ノ3～8、4ノ15～18他の区域。計画区域の地権者は270人で35人の地権者から同意を得ている。

現在、同駅西口では京急蒲田西口駅前地区市街地再開発組合（鷲尾幹令理事長）が、地下1階地上20階建て延べ約3万5120平方㍻の再開発ビル建設を東急建設（渋谷区）の施工を進めている。2015年12月に完成する予定。

大田区では同再開発事業や地区計画を利用してまちづくりを推進し、高架化された同駅の玄関口にふさわしいにぎわいと、駅前立地の利便性を生かした居住環境を創出していく考えだ。

2014年（平成26年）4月25日<金曜日> 日刊

建  
通  
新  
聞

東京

発行所 建通新聞社  
首都圏本部東京支社  
東京都港区新橋4-9-1  
新橋プラザビル16階  
〒105-0004 電話(03)5425-2070  
多摩支局 電話(042)527-7291  
<http://www.kentsu.co.jp/>  
新聞定価6ヵ月 40,200円(税込)

©建通新聞社 2014

発行紙  
神奈川/静岡/中部/大阪/岡山  
香川/徳島/愛媛/高知

電子版